

ANALISIS KESALAHAN PENGGUNAAN JODOUSHI ~SOU DA, ~YOU DA, DAN RASHII

Y.L. Rohman¹

¹²³Jurusan Bahasa dan Sastra Asing, Prodi Pendidikan Bahasa Jepang, Universitas Negeri Semarang, Semarang
e-mail: luffi@mail.unnes.ac.id

Abstrak

Penelitian ini merupakan penelitian yang membahas tentang analisis kesalahan penggunaan jodoushi ~sou da, ~you da, dan ~rashii. Tujuan penelitian ini untuk mengetahui jenis-jenis kesalahan apa saja yang dilakukan mahasiswa tingkat III Prodi Pendidikan Bahasa Jepang UNNES dalam penggunaan jodoushi ~sou da, ~you da, dan ~rashii dan untuk mengetahui faktor apa saja yang menyebabkan terjadinya kesalahan dalam penggunaan jodoushi ~sou da, ~you da, dan ~rashii yang sering dilakukan mahasiswa tingkat III Prodi Pendidikan Bahasa Jepang UNNES. Dalam penelitian ini digunakan metode deskriptif, dengan menjadikan penelitian survey sebagai desain penelitian. Untuk memperoleh data, instrumen yang digunakan berupa tes objektif. Teknik dalam mengumpulkan data adalah *one shoot model*, dimana pengambilan data dilakukan dalam satu waktu. Sedangkan sampel dalam penelitian ini adalah mahasiswa tingkat III Prodi Pendidikan Bahasa Jepang UNNES dengan jumlah 20 orang. Berdasarkan hasil penelitian, dapat diketahui bahwa jenis kesalahan penggunaan pola ~sou da, ~you da dan ~rashii dikategorikan menjadi kesalahan penggunaan pola kalimat saja, kesalahan perubahan bentuk saja, dan keduanya (kesalahan penggunaan pola kalimat dan kesalahan perubahan bentuk) pada soal pilihan ganda, soal terjemahan dan soal menyelesaikan kalimat. Adapun faktor-faktor yang berpotensi menjadi penyebab terjadinya kesalahan penggunaan jodoushi ~sou da, ~you da, dan ~rashii tidak hanya pemahaman tentang perbedaan dan persamaan penggunaan jodoushi ~sou da, ~you da, dan ~rashii tetapi juga faktor lain seperti pemahaman terhadap konteks kalimat, dan lain-lain.

Kata kunci: jodoushi, ~sou da, ~you da, ~rashii, kesalahan

要旨

「～そうだ」・「～ようだ」・「～らしい」が共に認識行為を表す助動詞であり、その意味が重なり合う部分を重ならない部分の区別が複雑なことから、日本語学習者には使い分けに困難の感じがする。本稿ではデスクリプト法を用いる。データを収集するために、客観的なテストを使用した。対象者はスマラン国立大学日本語教育プログラムの三年生の学習者20名である。本稿では、スマラン国立大学日本語教育プログラムの三年生に助動詞の「～そうだ」・「～ようだ」・「～らしい」の誤用を分析し、テストに現れているデータには誤用の分類は何か、また誤用の原因になることは何かを明らかにする。分析の結果に基づき、「～そうだ」、「～ようだ」、「～らしい」の誤用の分類はパターンの使いの誤用だけでなく、変形の誤用だけでなく、両方の誤用「パターンの使いの誤用及び変形の誤用」である。問題の種類としては選択肢の問題、翻訳の問題、完成法の問題である。また、誤用の原因としては助動詞の使う同じさ及び違いというものもあったが、他の要因も見られる。例えば、文脈を理解することなどが分かった。

キーワード: 助動詞、～そうだ、～ようだ、～らしい、誤用

1. はじめに

一部分の言語の誤用は一定の意味を伝える言葉を使うことである。特に日本語では品詞分類が多く、一部分は「助動詞」と呼ばれる。一定の意味を伝える助動詞の使い方は問題になる。日本語ではいくつかの一定の意味と雰囲気のある言葉が、インドネシア語にを翻訳したら、ひとつの言葉になることである。あるいくつかの言葉が助動詞の中に含んで、例えば：(Jidoo Gengo kenkyukai, 1987: 97-102) : ~そうだ、~ようだ、~らしい。

例:

1. 立派なスイカがある。中に赤いだ。このスイカは甘そうだ。
Rippana suika ga aru. Naka ni akai da. Kono suika wa amasouda.
Ada sebuah semangka yang bagus. Dalamnya merah. Semangka ini sepertinya manis.
(<http://www.014.upp.so-net.ne.jp/nbunka/okt98.html>)
2. あれ、この牛乳、ちょっと悪くなっているようだ。変なおいがする。
Are, kono gyuunyuu, chotto warukunatteiruyouda. Henna nioi ga suru.
Eh, susu ini sepertinya tidak bagus lagi. Baunya sudah aneh.
(どんなちきどう使う日本語表現文型200:150)
3. 天気予報によると、明日は雨らしい。
Tenkiyohou ni yoruto, ashita wa ame rashii.
Menurut ramalan cuaca, sepertinya besok hujan.
(日本語文法辞典)

上記の例は、同様にインドネシア語の「Sepertinya」にも「～そうだ」も「～ようだ」も「らしい」も使える場合があるという事実である。そのことは、語の意味の違いや、用法の違いを明確に理解するのは難しいと思われる。そのため、「～そうだ」・「～ようだ」・「らしい」を学習者に使う場合に困ることもしばしばある。

上記の背景に基づき、本稿では、スマラン国立大学日本語教育プログラムの三年生に対し助動詞の「～そうだ」・「～ようだ」・「らしい」誤用を分析し、誤用の分類は何か、また誤用の原因に何かを明らかにする。

本研究では問題提起は次の通りである。

- a. スマラン国立大学日本語教育プログラムの三年生に助動詞の「～そうだ」・「～ようだ」・「～らしい」の誤用の分類は何か。
- b. スマラン国立大学日本語教育プログラムの三年生に助動
本研究では問題の設定は次の通りである。
 - a. 本研究では分析するものはスマラン国立大学日本語教育プログラムの三年生に助動詞の「～そうだ」・「～ようだ」・「～らしい」の誤用の分類のみである。
 - b. 本研究では分析するものはスマラン国立大学日本語教育プログラムの三年生に助動詞の「～そうだ」・「～ようだ」・「～らしい」の誤用の原因になることのみである。

本研究では研究の目的は次の通りである。

- a. 本研究ではスマラン国立大学日本語教育プログラムの三年生に助動詞の「～そうだ」・「～ようだ」・「～らしい」の誤用の分類を図るためである。
- b. 本研究ではスマラン国立大学日本語教育プログラムの三年生に助動詞の「～そうだ」・「～ようだ」・「～らしい」の誤用の原因を明らかにする。

2. 研究の方法

本研究ではデスクリプト法を用い、デザインとして実際研究デザインを用いる。スマラン国立大学日本語教育プログラムの三年生を対象者に筆者が作成したテストを記入することと例文を依頼した。本研究は2020年7月20日に実施し、対象者は三年生の日本語の学生20名である。データを収集するために、客観的なテストを使用する。客観的なテストは20問である。テストの目的は助動詞の「～そうだ」・「～ようだ」・「～らしい」の誤用を図るためである。本稿では誤用の原因になることを図り、アンケートを使用する。アンケートは10問である。収集したデータを次の技術で分析する。

- a. 三つのパターンに述べた助動詞の「～そうだ」・「～ようだ」・「～らしい」による誤用を区別する。
- b. 出た誤用の回数によって誤用の種類を順付ける。
- c. 誤用の原因を分析する。
- d. 分析した結果から結論を建てていく。

3. まとめ

以上、助動詞の「～そうだ」・「～ようだ」・「～らしい」誤用の分類によって分析した。本稿で「～そうだ」の誤用の分類は選択法の問題にパターンの使いの誤用が（60%）であり、翻訳の選択法の問題に変形の誤用が（37, 5%）であり、完成法の問題に変形の誤用が（12, 82%）であり、完成法の問題にパターンの使いの誤用が（30, 77%）であり、完成法の問題にパターンの使いの誤用及び変形の誤用が（56, 41%）である。一方、「～ようだ」の誤用の分類は選択法の問題にパターンの使いの誤用が（43, 75%）であり、翻訳の選択法の問題に変形の誤用が（62, 5%）であり、完成法の問題に変形の誤用が（45%）であり、完成法の問題にパターンの使いの誤用が（25%）であり、完成法の問題にパターンの使いの誤用及び変形の誤用が（30%）である。一方、「～らしい」の誤用の分類は選択法の問題にパターンの使いの誤用が（66, 7%）であり、翻訳の選択法の問題に変形の誤用が（30%）であり、完成法の問題に変形の誤用が（0%）であり、完成法の問題にパターンの使いの誤用が（78%）であり、完成法の問題にパターンの使いの誤用及び変形の誤用が（22%）である。

また、誤用の原因としては助動詞の使う同じさ及び違いというものもあったが、他の要因も見られる。例えば、文脈を理解することなどが分かった。

参考文献

- Chaer, Abdul Drs. 1994. *Linguistik Umum*. Jakarta: Rineka Cipta.
- Darjat. 2009. *Ungkapan Akhir Kalimat pada Bahasa Jepang (Jodoushi)*. Jakarta: PT Gramedia Pustaka Utama
- Depdiknas. 2001. *Kamus Besar Bahasa Indonesia*. Jakarta: Balai Pustaka.
- Makino, Seichi dan Sutsuji Michio. 1996. *A Dictionary Off Intermediate Japanese Grammar*. Tokyo: Japan Times
- Matsuura, Kenji. 1994. *Kamus Bahasa Jepang-Indonesia*. Japan: Kyoto Sangyo University Press.
- Masayoshi, Hirose. 1994. *Effective Japanese Usage Guide*. Japan: Kodansha.
- Mizutani, Nobuko. 1987. *Intermediate Japanese*. Japan: Bonjinsha.
- McCready, Eric. dan Ogata, Norri 2006. *Evident, Modality and Probability*. Japan: Osaka University.
- McCready, Eric. dan Ogata, Norri 2006. *Adjectives, Stereotypically and Comparison*. Japan: Osaka University.
- Poerwadarminta. (1987). *Kamus Umum Bahasa Indonesia*, Jakarta: Balai Pustaka.
- Sudjianto, Ahmad Dahidi, 2008. *Pengantar Linguistik Bahasa Jepang*. Jakarta: Kesaint Blanc.
- Sutedi, Dedi. 2003. *Dasar-dasar Linguistik Bahasa Jepang*. Bandung: Humaniora.
- Sutedi, Dedi. 2009. *Penelitian Pendidikan Bahasa Jepang*. Bandung: Humaniora.
- Sutedi, Dedi. 2011. *Makalah Seminar Nasional dan Lokakarya untuk Meningkatkan Kemampuan Meneliti Para Guru Bahasa Jepang*. Bandung: tidak diterbitkan.

Tarigan, H.G. dan Tarigan, Djago. 1995. *Pengajaran Analisis Kesalahan Berbahasa*. Bandung: Angkasa.

Tim Dosen Pendidikan Bahasa Jepang FPBS UPI. 2009. *中級文法1*. Bandung: tidak diterbitkan

<http://www.014.upp.so-net.ne-jp/nbunka/okt98.html>.